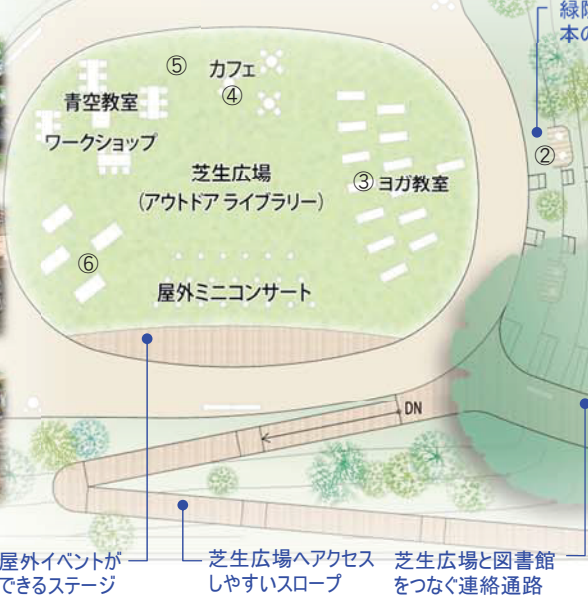


施設計画 地域課題の解決に向けた考え方 ― 基本計画を踏まえた課題の理解
地域をつなぎ市民活動の「場」を創出する拠点図書館

- 南部地区は住宅・公共・商業と“みどり”豊かな公園や並木が調和し、高齢者や地区再生によって増加する子育て世代等、まち・人・活動が豊かな地域資源を形成しています。
- 森に種を蒔いて樹木を育むように、この地域資源や起伏のある地形を「道」によって緩やかにつなぎ、市民活動の「場」が芽生え、多様な世代が交流することで、施設から公園、そしてまち全体へコミュニティが醸成していく起点となる図書館を実現します。(右図)
- 図書館のみならず、公園の広場や団地の集会所、商業施設のカフェ等が相互に機能を補完し、相乗効果によって地域の活性化へつなげます。



●図書館屋上広場・芝生広場利用イメージ

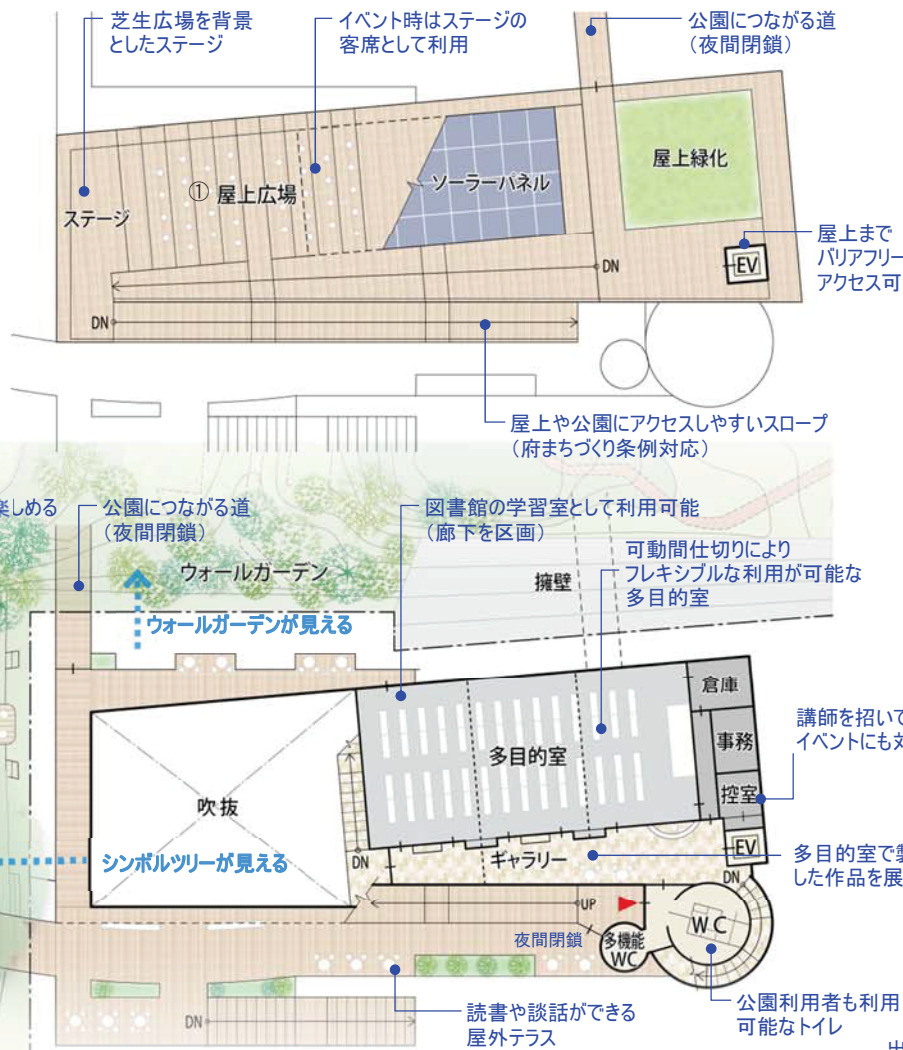
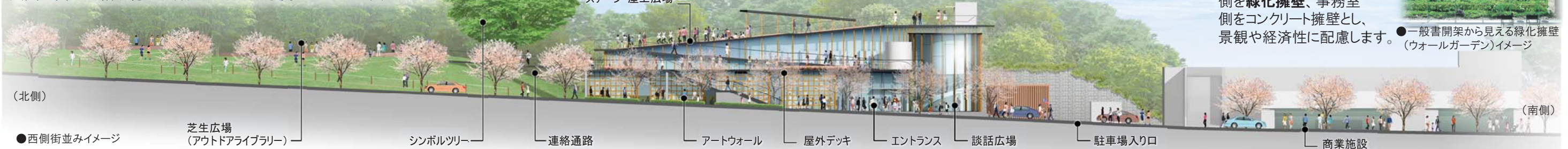


施設計画 地域課題の解決に向けた考え方 ― 中央公園との一体的利用を可能にする図書館設計
まち・人・活動をつなぐ「道」としての図書館

- 図書館自体を地域をつなぐ「道」と捉え、階段やスロープで広場や遊歩道と接続し、公園から周辺施設、まち全体へのつながりを生み出します。
- 2階では図書館と公園の芝生広場をフラットに接続し、内外が相互に連携しながら多様な活動ができる場を提供します。
- 2階には公園利用者も安心して屋外から利用しやすいトイレを配置します。

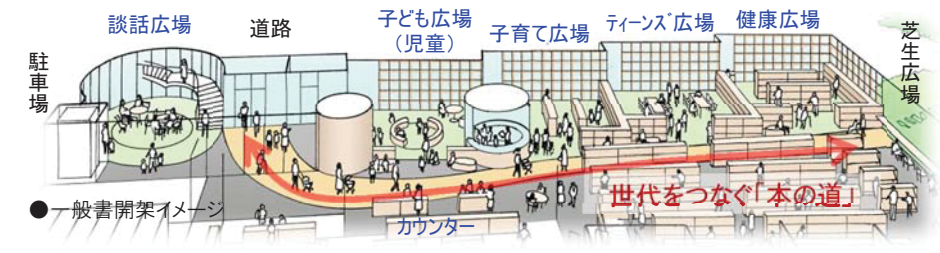
例	図書館の利用	移動	公園の利用		主な対象年齢層
			利用方法	利用できる「場」	
1	本を借りる	→	飲食と読書、自主学習	東屋、ベンチ、芝生広場	全年齢
2	健康向上のための本を読む	→	ジョギング、ヨガ講座、健康器具でストレッチ	ジョギングコース、健康器具、芝生広場	高齢者 子育て世代
3	アウトドアの本を借りる	→	アウトドアを感じながらの読書	ハンモック、テント	若者 子育て世代
4	虫や植物の研究 研究成果の展示	↔	虫取り、植物採取	公園全体	子ども
5	星座の本を読む	↔	星空観察	芝生広場、図書館屋上	子ども
6	読み聞かせ	↔	保育園のお散歩	散歩コース	保育園

丘陵地を緩やかにつなぐ「道」＝「図書館」が、南の大通りと公園の営みを結び付け、賑わいあふれる街並みを生み出します



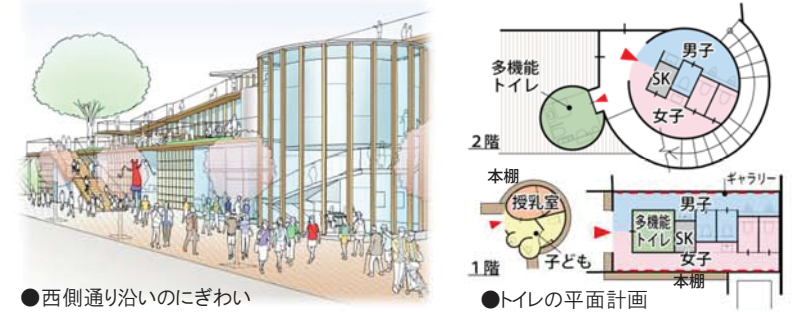
施設計画 地域課題の解決に向けた考え方 ― 拠点図書館として魅力的で効果的・効率的な施設
様々な世代を“つなぐ”「本の道」

- 南側の交差点から図書館へ、そして公園へつながるような「道」を館内中央に設定し、日常的に気軽に立ち寄りやすい雰囲気とします。
- この「本の道」に沿って各世代が関心を持ちやすい広場 (開架コーナー) を設け、本に包まれながら心地よく読書や調べ物ができる滞在型図書館とします。
- 子供、保護者、若者、高齢者の様子が相互に垣間見えることで、世代間のつながりが感じられ、新たな活動への意欲や交流を誘発します。



施設計画 地域課題の解決に向けた考え方 ― 拠点図書館として魅力的で効果的・効率的な施設
地域住民の生活に“つながる”拠点図書館＝身近な図書館

- 管理エリアを集約し効率的な運営に配慮することで、レファレンス等の利用者サービスを向上させた課題解決型図書館とします。
- 道路に面して円形の談話広場や階段、本棚を模したアートウォールを設け、まちに賑わいを発信する楽しい表情をつくります。
- 屋外デッキから館内の活動やまちの風景を見て楽しみながら散策できます。
- 玄関ホールには個人の推薦本や感想文、イベント等を紹介するコーナーを設け、利用者側の想いや活動を送受信できるギャラリーを設けます。
- 地域住民がいつでも安心して利用でき、ほっとできるようなトイレの計画とし、授乳室や子どもトイレは子ども広場に隣接させ、親子での利用に配慮します。
- 1階トイレの通路には新着図書やイベントの情報等を展示するギャラリーのようなトイレとします。



施設計画 配置計画及び敷地条件の制約についての考え方
図書館と利用者を安全・快適に“つなぐ”敷地計画

- 建物はコンパクトにまとめ南側に駐車場を配置し、商業施設の駐車場と共に車両動線を集約、注意喚起を促して安全を確保します。
- 駐車場・駐輪場は、分館の中でも利用者が多いことや、利用地域が拡大することを踏まえ最大限確保します。
- 周辺の斜面地から一定の離隔を取り、室内の圧迫感を軽減、緑豊かな景観を借景とした開放的な空間とします。
- 公園側の擁壁は開架エリア側を緑化擁壁、事務室側をコンクリート擁壁とし、景観や経済性に配慮します。

